

「大森寺見学と般若心経解説の会」開催

守山鯉城会東地域

開催日時 令和4年11月22日(火) 10:30~12:00 参加者 45名



参加者



住職による山門の建設説明

大森寺 境内



山門



本堂



鐘 櫻



合祀塔宝塔

大森寺 内部



住職のお話

① 大森寺の歴史

② 仏教の教え

③ 般若心経の解説

ア経本をみて、間違いのないように読むとされている。

イ般若心経は哲学である。

ウ自分をどう見るか、どう認識するか 等々

大森寺について(住所：名古屋市守山区弁天が丘)

興 舊 山 (こうきゅうざん) 歓 喜 院 (かんぎいん) 大 森 寺 (だいしんじ) は 尾 張 二 代 藩 主 徳 川 光 友 公 の 生 母 で あり 歓 喜 院 (かんぎいん) (お 尉 (じょう) の 方 (かた)) 様 の 菩 提 と 徳 川 家 御 一 門 を 弔 う た め 寛 文 元 年 (1661 年) に 創 建 さ れ ま し た 。

大 森 村 を 訪 れ た 初 代 藩 主 徳 川 義 直 公 に 見 初 め ら れ 、 二 代 藩 主 、 光 友 公 を 産 ん だ お 尉 (じょう) の 方 (かた) 様 の 菩 提 を 弔 う こ と か ら 、 良 縁 ・ 縁 結 び 、 子 の 無 事 成 長 ・ 立 身 出 世 ・ 健 康 長 寿 の ご 利 益 寺 院 と し て 、 ま た 、 学 業 ・ 合 格 の 祈 願 寺 と し て も 親 し ま れ て い ま す 。

般若心経とは

般若心経(ほんにやしんぎょう)は略された呼称で、正式な名称は「般若波羅蜜多心経(ほんにやはらみつたしんぎょう)」です。般若心経自体が略された呼称なのですが、さらに略されて「心経(しんぎょう)」と呼ばれることもあります。般若心経は本文 260 文字程度から成り、お経としてはとても短いながらも、お釈迦様の教えにおける重要かつ、本質的な要素が詰まっていると言われていいます。260 文字程度の般若心経ですが、大きく分けて 4 つのパートから成り立っています。

- 第 1 のパート: 観音菩薩が悟ったことについて述べたところ
- 第 2 のパート: 観音菩薩がシャーリプトラへ「空」の思想を語り始める場面
- 第 3 のパート: さらに深く「空」の思想を伝える場面
- 第 4 のパート: 悟りを開くための「真言(マントラ)」という特別な言葉が唱えられる